



2026年1月23日

各 位

会社名 ジャパニアス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 西川 三郎
(コード: 9558 東証グロース)
問合せ先 執行役員 I R 担当 神田 理裕
(TEL. 045-670-7240)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2026年1月23日開催の取締役会において、2026年11月期から2028年11月期までを対象期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、当社は経営環境の変化へ柔軟に対応するため、原則として毎期改定を行うローリング方式の3か年の中期経営計画として策定しております。

記

1. 中期経営計画策定の背景

当社は、「先端テクノロジーで日本の明日に新たな価値を提供する」をミッションに掲げ、創業以来、加速するテクノロジーの進化に挑戦し続けてきました。AI・IoT・クラウドをはじめとした先端テクノロジーの活用が進む中で、変化に順応するだけでなく新たなニーズを見い出すことで、より付加価値の高いサービスを提供できる、選ばれ続ける会社を目指しております。

2. 基本方針

当社は、「先端エンジニアリング事業におけるデジタル人材の雇用と創出」を長期ビジョンとしてデジタル人材1万人を目指しており、テーマ（目指すべき姿）を総合人材サービス業としております。2026年11月期から2028年11月期までにつきましては、新たな成長要素への取り組みをすすめるとともに、既存事業の拡大・強化を通じた持続的な成長を図ることとしております。

（1）新たな成長要素

- 新しい取り組み
 - M&Aの推進による新規領域の獲得、事業シナジーの創出
 - 資本・業務提携などによる新たなビジネスパートナーの開拓
 - 新規事業への継続的な挑戦による事業化の実現

（2）既存事業の拡大・強化

- 重視する経営指標の達成
 - 外部リソースの積極活用によるエンジニアの増強
 - エンジニアの高稼働率維持と定着率向上の両立
 - 継続的な一人当たり売上高の向上
- 基盤強化に向けた投資
 - 人材育成や制度基盤への投資による人材基盤の強化
 - 事業運営の高度化・効率化を目的としたIT投資の拡充
 - エリア拡大および拠点配置の最適化に向けた投資の継続

3. 戦略骨子

(1) 新しい取り組み

M&A を重要な成長戦略の一つと位置付け、「単価向上」「成長分野での技術優位性確立」「プライム取引拡大」「優秀人材の確保」を目的として継続的に取り組む

(2) 重視する経営指標の達成

エンジニア数 : 2025 年 11 月期末 1,731 人 → 3 年後 2,220 人

稼働率 : 2025 年 11 月期末 94.5% → 3 年後 95.3%

一人あたり売上高 : 2025 年 11 月期末 598 千円/月 → 3 年後 619 千円/月

(3) 基盤強化に向けた投資

- AI を活用し従業員のエンゲージメントスコアを分析することによる離職リスクの早期把握

- J-college と J-learning の相乗効果による教育機会の継続的な創出

- IT エンジニア不足の社会課題に対して採用力を生かしたリソースの提供

4. 数値目標

| (百万円) | 2025 年 11 月期 (実績) | 2026 年 11 月期 (予想) | 2027 年 11 月期 (計画) | 2028 年 11 月期 (計画) |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 売 上 高 | 12,084 | 13,150 | 14,640 | 16,600 |
| 経 常 利 益 | 1,087 | 1,120 | 1,260 | 1,555 |
| 経 常 利 益 率 | 9.0% | 8.5% | 8.6% | 9.4% |

中期経営計画の詳細につきましては別途開示しております「事業計画及び成長可能性に関する事項 2025 年 11 月期決算説明会資料」をご覧ください。

以 上